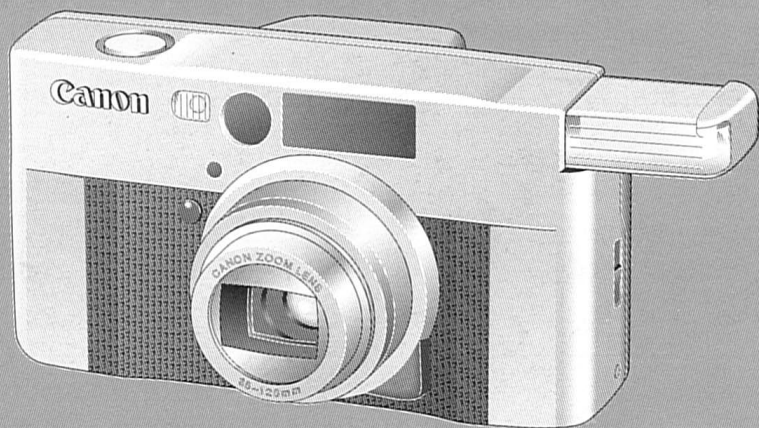


Canon

Autoboy 120



はじめに

基本編

活用編

応用編

資料編

使用説明書

J

日本語版

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。
カメラをご使用前にこの使用説明書をよくお読みになり、
カメラを手に取りながら操作に慣れたうえで、正しくお使い
ください。

目次

●本書の構成

この使用説明書は、はじめに、基本編、活用編、応用編、資料編と段階的に分類してあります。初めてカメラをお使いになる方は「はじめに」から順にお読みください。

■本文中のマークについて



撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書かれています。



カメラの基本操作に加え知っておいていただきたい事項が書かれています。

はじめに

目次	2
安全上のご注意	4
ストラップ・ケースの付けかた、使いかた	7
操作早わかり	8
カメラを構える	9
各部の名称	10
視度調節について	12

基本編

① フィルムを入れる	14
② 電源を入れる	16
③ 電池をチェックする	16
④ 写したいものの大きさを決める	17
⑤ 全自動で撮影する	18
AF フレームのピント表示	19
AiAF 機能について	19
☐ 中央1点でピントを合わせる	20
ガラス越しの撮影について	20

写したいものを画面の端において撮る (フォーカスロック撮影)	21
近距離撮影について	22
緑ランプ／オレンジランプの表示	23
連続撮影	23
📷 セルフタイマー撮影	24
フィルムを取り出す	25
電池を交換する	26

活用編

📷 動いているものを撮る	27
📷 夜景をバックに人物を撮る 赤目緩和を効果的に行うには	28
📷 人物をアップで撮る	30
📷 近づいて大きく撮る	31
SPOT 極端に明るいもの、暗いものを撮る	32
PERSONAL 自分で設定した機能で撮る	33

応用編

📷📷 ストロボモードを変える	34
(📷) ストロボオート／赤目緩和なし	35
📷(📷) ストロボオート／赤目緩和	36
📷 ストロボ ON	36
📷 ストロボ OFF	37
📷 +1.5 -1.5 ストロボ OFF／手動露出補正	38
📷📷 スローシンクロ／赤目緩和	39
📷 パノラマ撮影	40
日付／時刻を写し込む	41
日付／時刻を設定する	42
メッセージを写し込む	44
📷 リモコン撮影	46
リモコンの電池交換	47

資料編

こんなときは	48
Q & A	49
主な仕様	50
アフターサービスについて	裏表紙

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

その他の絵表示の例 行為を禁止する記号



禁止



接触禁止



分解禁止

- 記号は、行為を禁止する内容を告げるものです。
- の中に具体的な禁止内容が書かれています。



警告（電池について）



このカメラで指定されていない電池は、使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



新しい電池と古い電池を混ぜての使用はしないでください。また、違うメーカー、違う種類の電池を混ぜての使用はしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。







電池を火の中に入れてたり、分解、加熱、ショートは絶対しないでください。また、水の中に入れてたりしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。






リチウム電池など充電できない電池を無理に充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

警告（電池について）


-  電池を取り外した場合は、お子様の手の届かないところへ置いてください。万一、飲み込んだ場合、電池が壊れて電池の液で胃、腸等が冒される恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。
-  万一、カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭い等の異常状態が起こった場合、そのまま使用すると火災、火傷の原因になります。火傷には、十分注意しながら速やかに電池を取り出し、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。
-  電池を廃棄する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。
-  電池の「+」と「-」の接点を正しく入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

はじめに

警告（ストロボについて）

-  車の運転者等におけてストロボを発光しないでください。事故の原因となります。
-  ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。目の近くでストロボを発光すると視力障害を起こす危険性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
-  ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また、連続発光後、ストロボ部に触らないでください。火傷の原因となります。

警告（その他取り扱いについて）

-  落下等により、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



警告（その他取り扱いについて）



自分でカメラを分解、改造しないでください。高電圧がかかり感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。



カメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。



カメラは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。



湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電の原因となります。



自動車などの運転中に運転者は、カメラを絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。



注意（その他取り扱いについて）



カメラ（特に金属製のもの）を高温状態の車の中に放置したり、熱いものの近くに置いたりしないでください。カメラ自体が高温になり、触ると火傷の原因となることがあります。



カメラ（特に金属製のもの）を低温状態中に放置したりしないでください。カメラ自体が低温になり、触るとけがの原因となることがあります。



カメラをストラップで下げているときは、他の物に引っ掛かったりしないように注意してください。けがをする原因となることがあります。

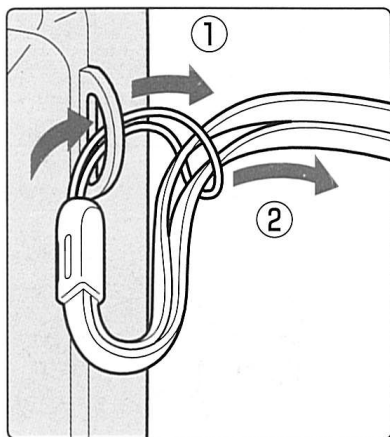


カメラを三脚に取り付けたまま移動しないでください。つけたまま移動するとつまずいたり、ぶついたりしてけがや事故の原因となることがあります。また、三脚はカメラ・レンズに対して十分に強度のあるものをご使用ください。



万一、カメラごと水に落としたり、内部に水が入った場合は、電池を抜いて、速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

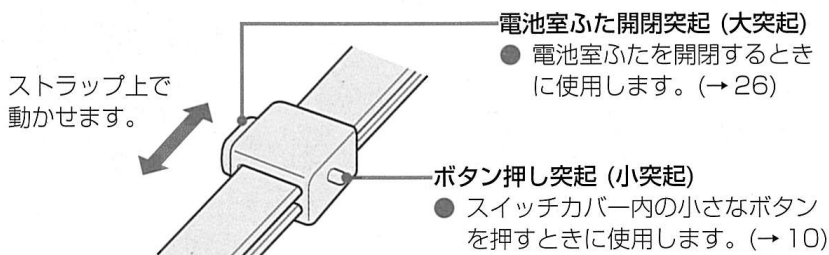
ストラップ・ケースの付けかた、使いかた



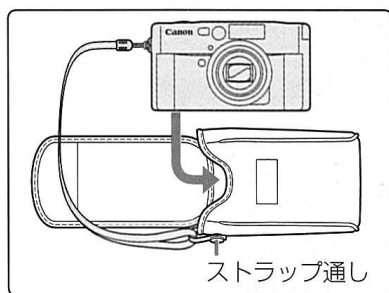
カメラを落とさないように、付属のストラップをカメラに付けて使用します。

- ①②の順に通します。

ストラップ止め具の突起について



ケースの使いかた

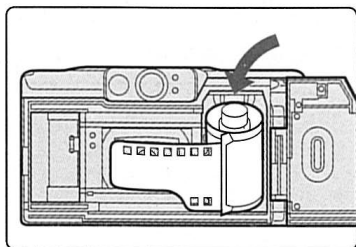


ケースのカバーを開け、カメラを入れる。

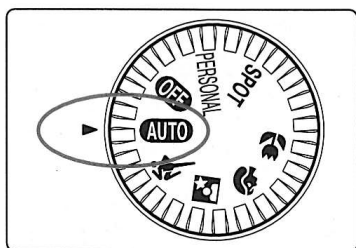
- ストラップ通しにストラップを通しておくと、撮影時にケースを落とす心配がありません。
- ケース内側のポケットにリモコンを収納できます。

操作早わかり

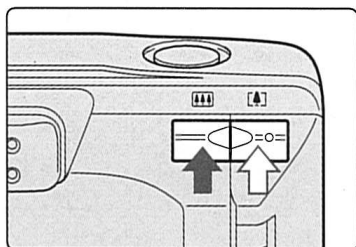
詳しくは参照ページ (→ ■) をご覧ください。



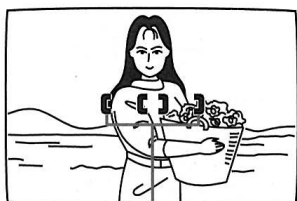
- 1** フィルムを入れる。
(→ 14)



- 2** ベストショットダイヤルを **AUTO** に合わせる。
(→ 18)
→ レンズカバーが開き、レンズとストロボがセットされます。

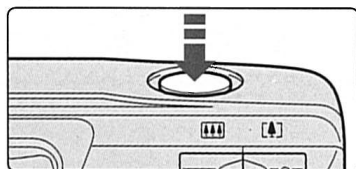


- 3** ズームボタンを押して写したいものの大きさを決める。
(→ 17)



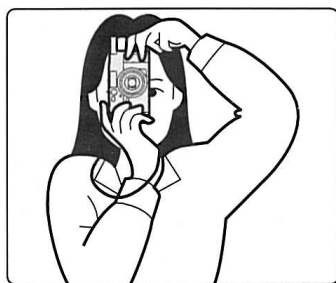
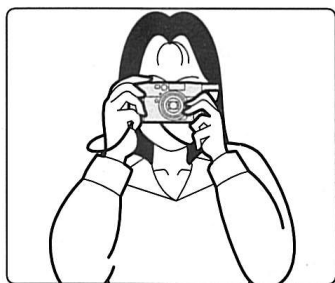
ワイドAFフレーム

- 4** 構図を決め、撮影する。
(→ 18)

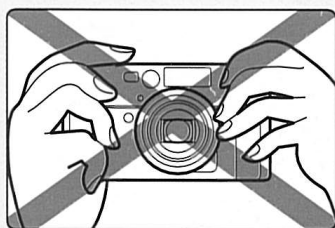


カメラを構える

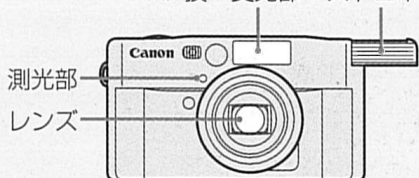
シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。



- 両手でカメラを持ち、ひじを体に軽くつけます。
- カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞき、シャッターボタンをゆっくり、静かに押します。



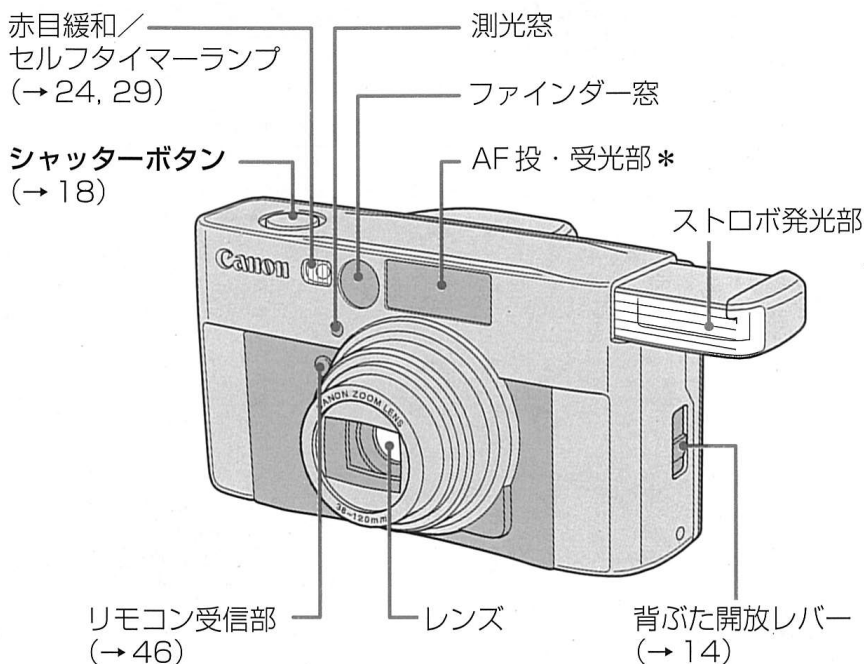
AF 投・受光部 ストロボ



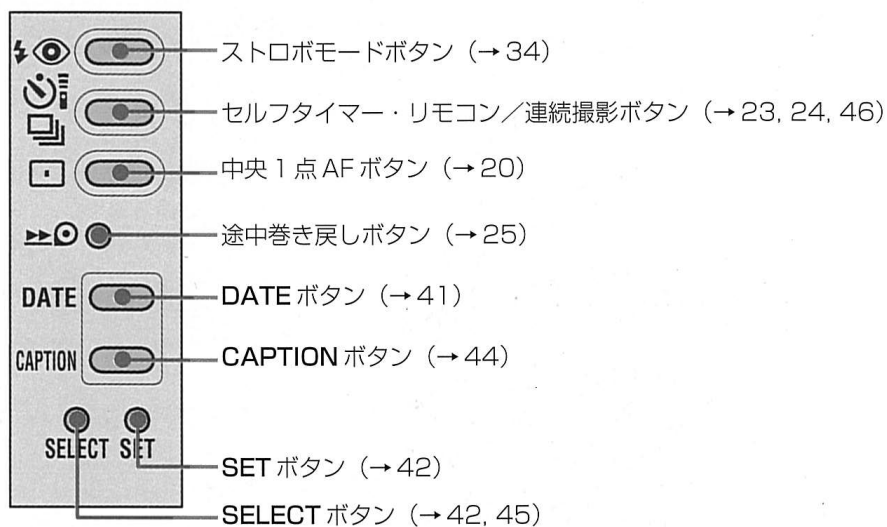
測光部
レンズ

- カメラを構えるときは、レンズ、AF 投・受光部、測光部、ストロボなどに髪や指、ストラップなどがかからないように注意してください。
- ストロボを押し込まないように注意してください。ストロボ OFF 撮影となります。
- AF 投・受光部が汚れているとピントが合いにくくなります。汚れなどはきれいにふき取ってから撮影をしてください。
- 撮影完了の目安となるフィルム巻き上げ音がするまでカメラを構えたまま動かさないでください。

各部の名称

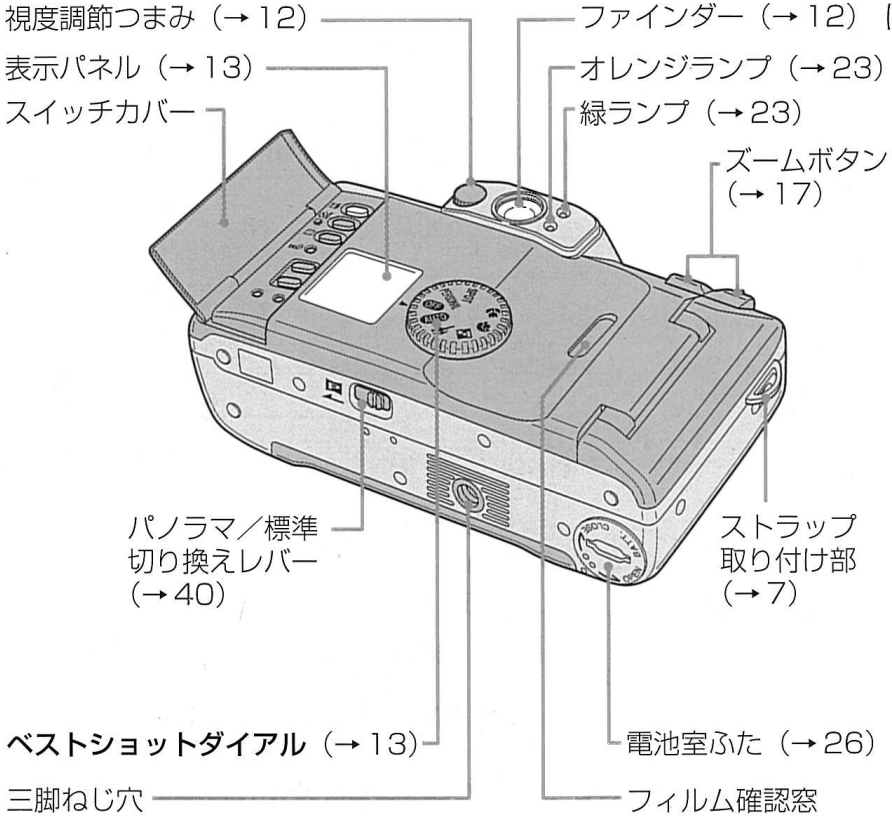


スイッチカバー内部



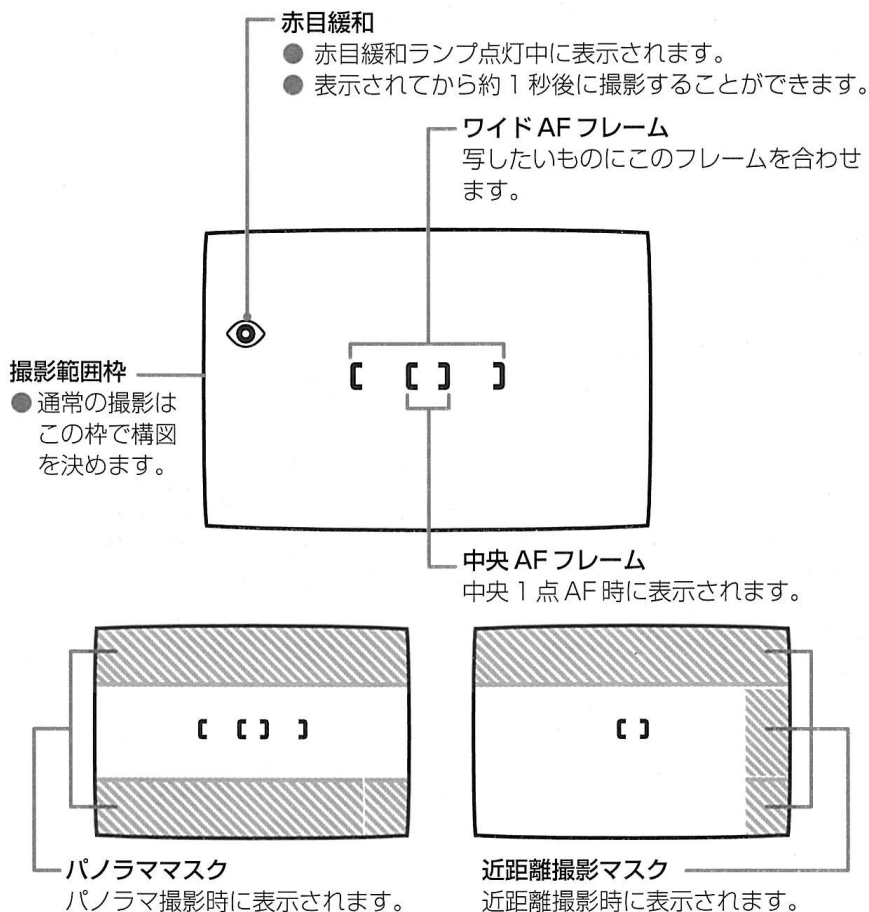
(→ ■) は、参照ページです。

はじめに

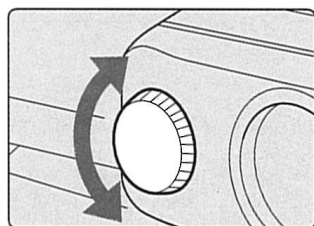


* AFとは英語のAUTO FOCUS (オートフォーカス)の略で自動焦点のことです。

ファインダー内の名称

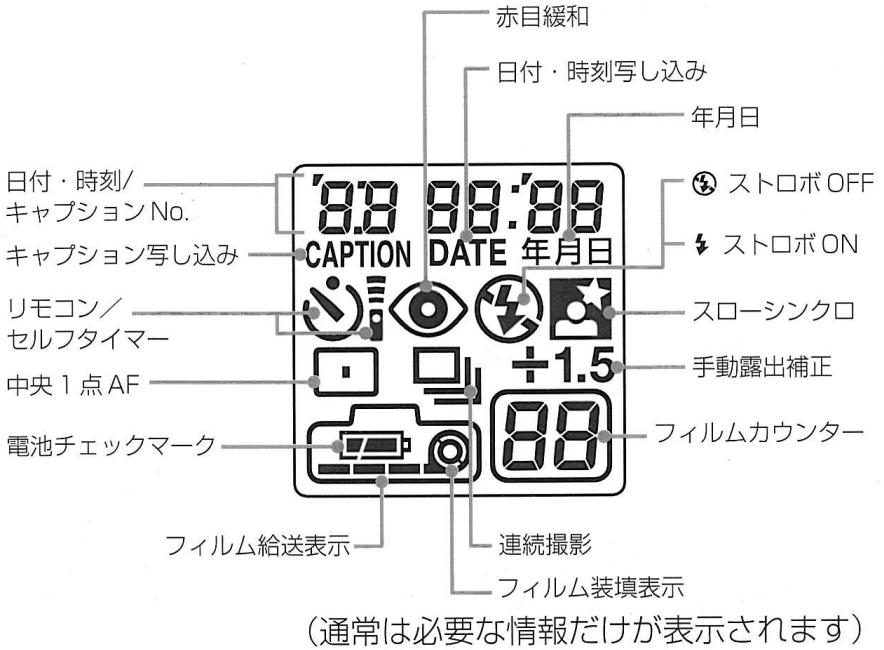


視度調節について

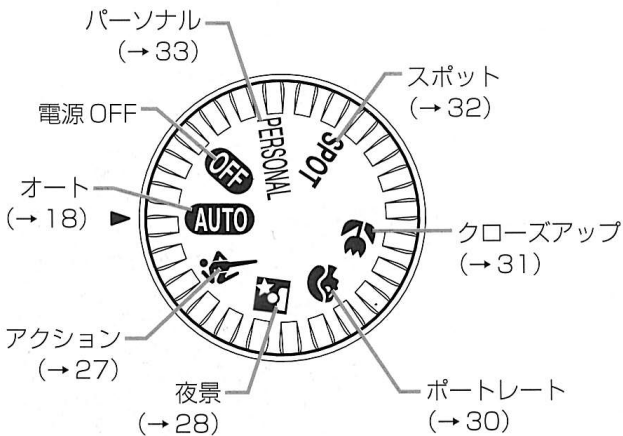


ファインダーの像がはっきりと見えるように視度調節つまみを回します。

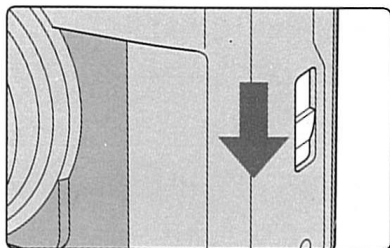
表示パネル



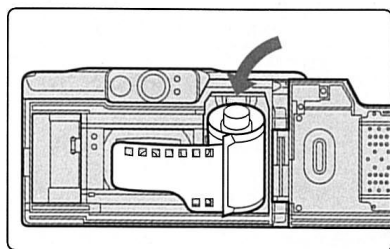
ベストショットダイアル



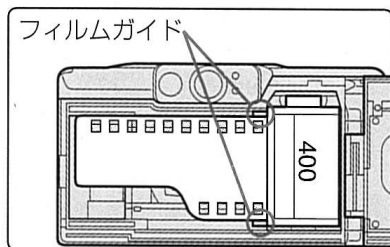
1 フィルムを入れる



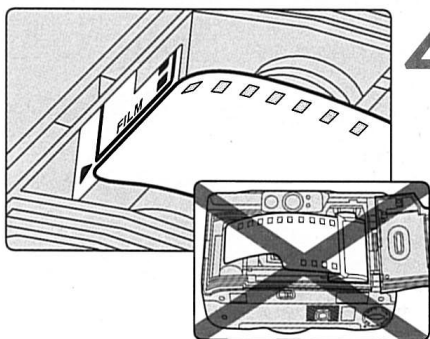
- 1 背ぶたを開ける。
● レバーを押し下げます。




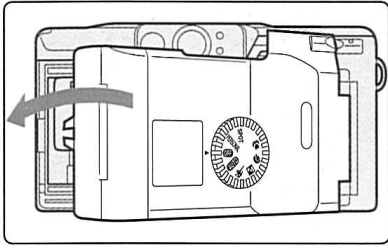
- 2 フィルムを入れる。



- 3 フィルムをフィルムガイドの間に正しく合わせる。



- 4  (フィルム先端位置マーク)の位置までフィルムを引き出す。
● フィルムがたるまないように引き出します。



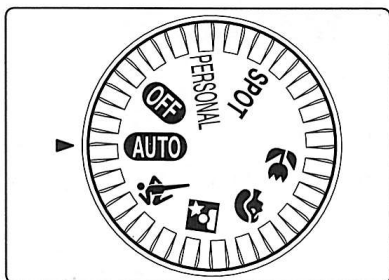
5 背ぶたを閉める。

- フィルムが送られ、フィルムカウンターに「1」が表示されます。
- フィルムカウンターの「0」が点滅するときにはフィルムが正しく送られていません。もう一度入れ直してください。



- DX マークのついたフィルムをお使いください。カメラが自動的にフィルム感度を読み取ってセットします。
- フィルム感度 ISO400 をおすすめします。

2 電源を入れる




ダイヤルを OFF 以外に合わせる。




→ レンズカバーが開き、レンズとストロボがセットされます。レンズははじめ広角側にセットされます。



- レンズやストロボを手で押さえないでください。
- 撮影時にストロボを押し込むと、ストロボ OFF 撮影となります。不用意に押し込まないよう注意してください。

3 電池をチェックする

電源を入れたとき表示パネルに  がでていることを確認します。

-  (点灯) 電池の容量は十分です。
-  (点灯) 新しい電池を用意してください。
-  (点滅) 新しい電池と交換してください。(→ 26)

新品電池の寿命は、24 枚撮りのフィルムで約 24 本(常温・ストロボ 50% 使用時/当社試験条件による)が目安です。低温(-10°C)での電池寿命は常温時の約 1/3 となります。



- 旅行のときや、写真をたくさん撮るときは、予備の電池をご用意ください。特に海外では電池の入手が困難なことがあります。
- ストロボ撮影を連続して行くと、電池の能力が一時的に低下し、正しい表示が出ないときがあります。一度電源を切り、しばらく待ってから電源を入れ直してください。

4 写したいものの大きさを決める

ズームボタンで、写したいものの大きさを変えることができます。



広角 (38mm)

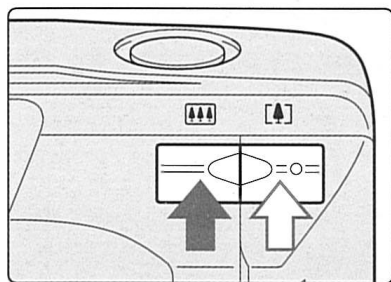
風景や集合写真など広い範囲を撮影するときに使用します。



望遠 (120mm)

人物のアップなど写したいものを大きく撮影するときに使用します。

基本編



ズームボタンを押す。

- 右を押すと望遠側に、左を押すと広角側にズームします。



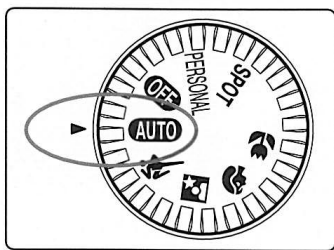
- ズーム中はレンズ鏡筒に触れないでください。



- 電源を入れるとレンズははじめ広角側にセットされます。
- レンズが望遠側に繰り出されたまま約4分放置されるとレンズ保護のため自動的に広角側に収納されます。

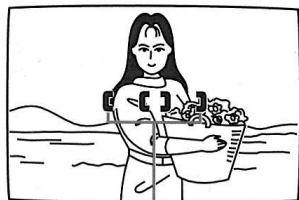
5 全自動で撮影する

AiAF 機能ですから、写したいものがワイド AF フレームにかかっていればピントが合います。また、暗いところや逆光のときは自動的にストロボが発光します。



1 ダイアルを **AUTO** に合わせる。

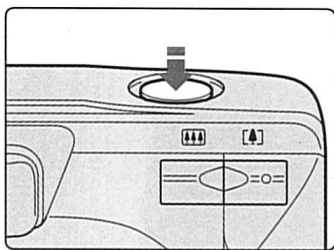
- ➔ レンズカバーが開き、レンズとストロボがセットされます。



ワイド AF フレーム

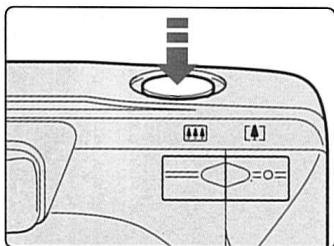
2 ピントを合わせる。

- 写したいものにワイド AF フレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押します。
- ➔ ピントが合った部分（または範囲）に AF フレームが表示され、緑ランプが点灯します。
- シャッターボタンを軽く押しただまにします。



3 構図を決めて撮影する。

- さらにシャッターボタンを押し込みます。
- ゆっくり、静かに押しください。
- ➔ 撮影されます。



AFフレームのピント表示

AiAFのワイドAFフレームでピントを合わせると、下図のようにピントが合ったところを表示します。

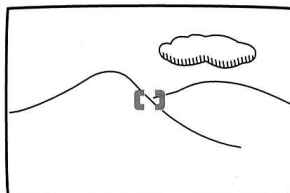
写したい人が一人のとき



写したい人が二人のとき



グループ写真・
風景など



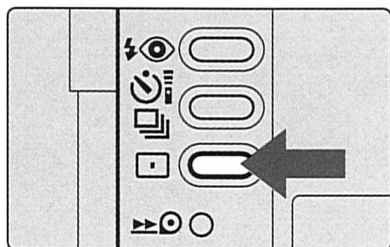
AiAF機能について

- AiAF (Artificial intelligence: 人工知能) は、広い測距範囲を持ち、ピントを合わせるところを的確に判断する最新のメカニズムです。これは、数千点の写真を分析し、そのデータとキヤノン独自のノウハウに基づき、開発された機能です。

中央 1 点でピントを合わせる

AUTO、**AF**、**PERSONAL** は AiAF (3 点測距) ですが、中央 1 点 AF **□** にも設定することができます。

写したいものを画面の端において撮影する場合や (→21)、写したいものに確実にピントを合わせたいときに便利な機能です。

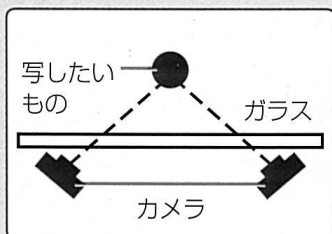


スイッチカバー内部の □ ボタンを押す。

- ➔ 表示パネルに □ がでます。
- □ ボタンをもう一度押すと解除されます。



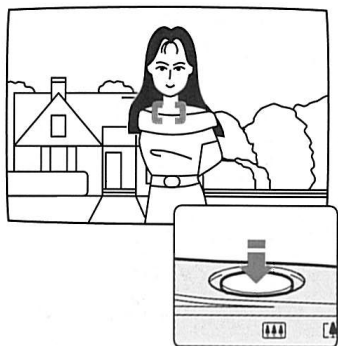
ガラス越しの撮影について



- ガラス越しで撮影するときは、ガラス面にできるだけ近づけて (20cm 以内)、斜めの位置から撮影します。なお、離れすぎるとガラスにピントが合うことがあります。

写したいものを画面の端において撮る (フォーカスロック撮影)

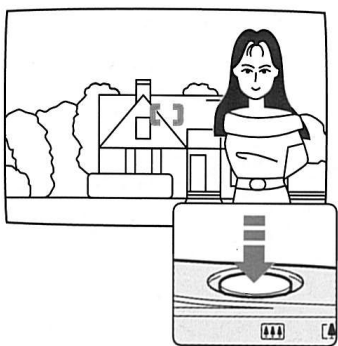
AiAFでもできますが、中央1点AFで行うことをおすすめします。(→20)



1 ピントを合わせる。

- 写したいものに中央AFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押します。
- ピントが合うと、緑ランプが点灯します。
- シャッターボタンは軽く押しただまにします。

基本編




2 構図を決め、撮影する。

- 構図を決めます。
- さらにシャッターボタンを押し込みます。
- ゆっくり静かに押しください。
- 撮影されます。



- 写したいものとカメラの距離が変わらないように注意してください。距離が変わったときは、やり直してください。

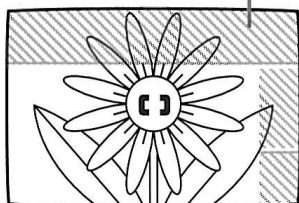


- リモコン撮影では、手順1の操作を行うと、シャッターボタンから指を離しても、約4分間フォーカスロックしたままとなりますので、あらかじめピントを合わせて、構図を決めてから撮影することができます。
-  マーク時はフォーカスロックはできません。

近距離撮影について

近距離撮影では、ファインダーで見える範囲と実際に写る範囲にズレが生じます。写らない範囲を示す近距離撮影マスクが表示されたときは、次の手順で撮影してください。

写らない範囲を示す
近距離撮影マスク

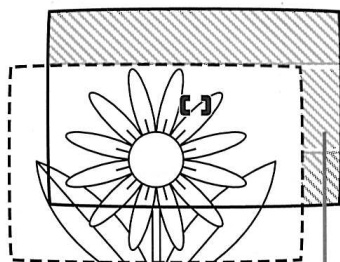


1 ピントを合わせる。

- 写したいものに AF フレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押します。
- 緑ランプの点灯と AF フレームのピント表示を確認します。
- シャッターボタンは軽く押したままにしておきます。

2 構図を変え、撮影する。

- 写したいものが近距離撮影マスクにかからないようにして、撮影します。
- 写したいものからの距離は変えないでください。



実際に写る範囲
(-----線内)

ファインダーで見えても
写らない範囲

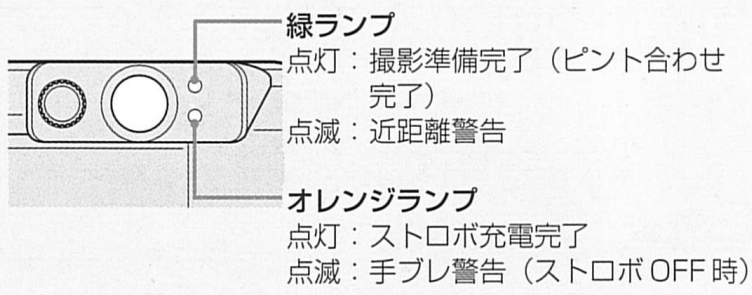


- パノラマ撮影ではファインダーで見える範囲と実際に写る範囲のズレが大きいため 2m 以上離れて撮影してください。



緑ランプ／オレンジランプの表示

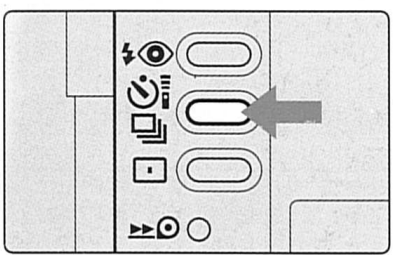
- シャッターボタンを軽く押したとき、ランプの点灯や点滅で撮影の準備を知らせます。




- 緑ランプが点滅したら、点滅しない距離まで離れてシャッターボタンを押し直します。40cmより近づくと緑ランプが点灯する場合があります。この場合はピンボケ写真となりますので注意してください。
- オレンジランプが点滅したら三脚などの使用をおすすめします。

連続撮影

このカメラは、連続撮影ができます。

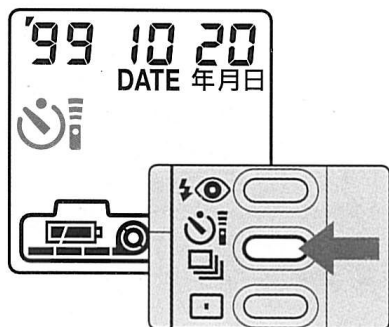


スイッチカバー内部の ボタンを押す。

- 表示パネルに  が出るまで押します。
- シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。

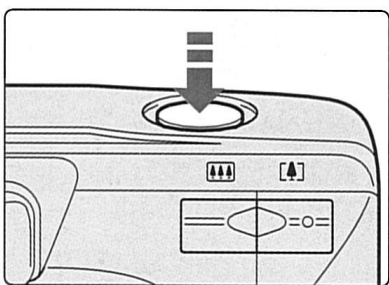
🕒 セルフタイマー撮影

セルフタイマーを使うと、カメラから離れて撮影することができます。



1 セルフタイマー撮影にする。

- 🕒 ボタンを押します。
- ➔ 表示パネルに 🕒 ができます。
- 再度 🕒 ボタンを2回押すと 🕒 表示が消えてセルフタイマー撮影が解除されます。



2 構図を決め、シャッターボタンを押す。

- ➔ 赤目緩和ランプの点滅(1回/秒)と表示パネル上のカウントダウンでお知らせします。
- ➔ 約10秒後にシャッターがきれます。
- 途中でやめるには 🕒 ボタンを押します。



- カメラの直前に立ってシャッターボタンを押さないください。ピントがボケる原因となります。



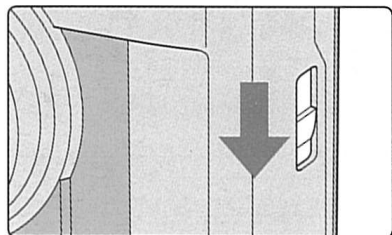
- シャッターがきれ約2秒前になるとランプの点滅はさらに速くなります。赤目緩和撮影でストロボが発光するときには点灯に変わります。
- セルフタイマー撮影は 🕒 が表示されている約4分間有効で、続けて撮影することができます。
- カメラはしっかりと台の上に置くか、三脚などをご利用ください。
- フォーカスロック撮影は、通常撮影と同様に行うことができます。(→21)

フィルムを取り出す

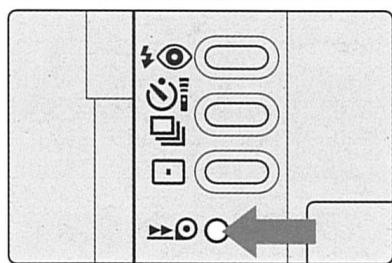
フィルムは、最後まで撮り終わると自動的に巻き戻されます。巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が減っていきます。巻き戻しが終了するとフィルムカウンターが「0」になります。



- 1 フィルムカウンターが「0」であることを確かめる。



- 2 背ぶたを開ける。
 - レバーを押し下げ、フィルムを取り出します。




フィルムを撮り終わる前に取り出すには

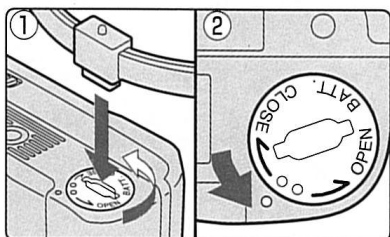
- ストラップ止め具の小突起 (→7) でスイッチカバー内部の ボタンを押します。
- 巻き戻しが始まるまでボタンを押し続けてください。



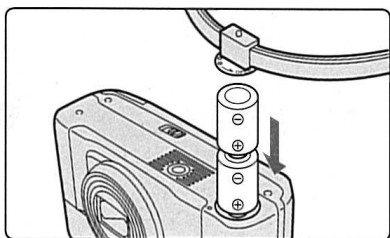
- 背ぶたを開ける前に必ず マークの点滅を確認してください。 マークが点滅していないときは小突起 (→7) で ボタンを押してください。
- 規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされてしまうことがあります。また、日付や時刻の写し込みがされない場合があります。

電池を交換する

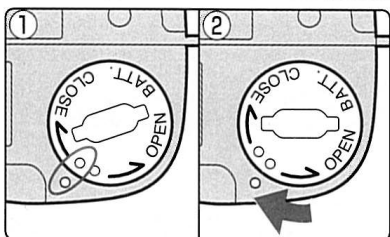
表示パネルに  が点滅 (→ 16) したときは、新しいリチウム電池 CR2 タイプ、2本と交換してください。




- 1 電池室ふたを外す。**
- ふたを開閉する際は必ずストラップ止め具の電池室ふた開閉突起 (大突起) を使用してください。
 - 大突起をふたの溝にはめこみ①、左へ回します②。



- 2 新しい電池を入れる。**
- +- を正しく合わせて、2本とも新しい電池を入れます。



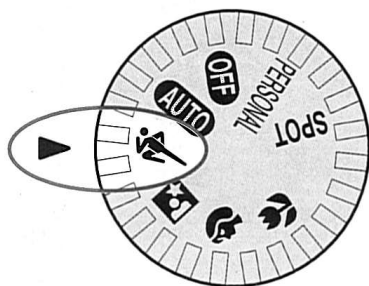
- 3 電池室ふたを付ける。**
- カメラ本体の指標とふたの指標 [CLOSE 側] を合わせてはめ込み①、右へ回します②。
- 表示パネルに  が表示されます。
- 表示パネルの日付が「-- --」で点滅しますので、日付と時刻を設定します。(→ 42, 43)

🏃 動いているものを撮る



①

動きのあるものに連続してピントを合わせるサーボオートフォーカスと、連続撮影機能が設定されています。



- シャッターボタンを軽く押しながら、中央AFフレーム①を動くものに合わせて追いつけます。シャッターチャンスがきたら、さらにシャッターボタンを押してください。
- シャッターボタンを押したままにすると、連続撮影ができます。

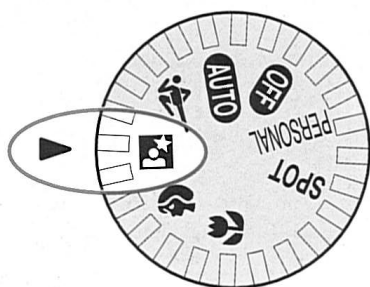


- 暗いときや逆光のときは、自動的にストロボが発光します。
- シャッターチャンスを逃さないように赤目緩和機能ははたらきません。
- 緑ランプとオレンジランプは点灯しません。
- シャッターボタンを軽く押ししている間、約40秒間ピントが合い続けます。

夜景をバックに人物を撮る




ストロボで人物を写し、同時に4秒までの低速シャッター速度で夜景を写し込みます。



- 撮影前に赤目緩和（ランプが点灯）するため、約1秒間シャッターはきれえません。フィルム巻き上げ音がするまでシャッターボタンを押しつづけてください。
- 手ブレ警告は出ません。シャッター速度が遅く（最長約4秒）なりますので、必ず三脚などを利用し、カメラを固定してください。また、ストロボが光った後も、写される人がすぐには動かないようにしてください。



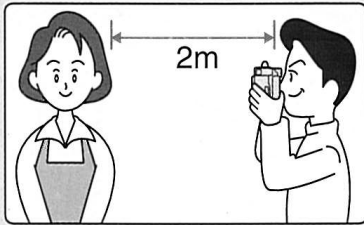
- 撮影条件によっては **AUTO**（→18）で撮影したほうがきれいな写真が撮れる場合がありますので、 と **AUTO** の両方で撮影しておくことをおすすめします。
- ストロボの発光を止めて夜景だけ撮ることができます。（→37）
- セルフタイマーやリモコンを使用すると、撮影者も一緒に写ることができます。（→24、46）



赤目緩和を効果的に行うには

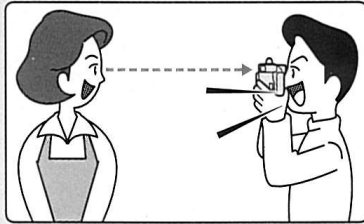
暗い場所で人物をストロボ撮影すると、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象と言い、ストロボの光が目の網膜に反射して起こります。

④ モード時はストロボ発光の前に赤目緩和ランプを約1秒間点灯させることで写る人のひとみを小さくし、赤目現象の発生を緩和します。



① 写したい人に2m程度まで近づく。

● 赤目緩和ランプは2mまでが効果的です。



② 声をかけてカメラを注視してもらう。

● 写される人がまっすぐランプを見ないと赤目緩和の効果が出ません。

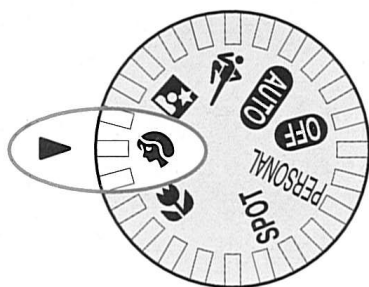


- 赤目緩和効果の度合には個人差があります。
- レンズを広角側にして撮影してください。
- 室内はできるだけ明るくしてください。

人物をアップで撮る



人物の上半身が入るように自動的にズーミングし、目に輝き（キャッチライト）が入るように常にストロボが発光します。



- 人物に中央 AF フレーム①を合わせて撮影してください。

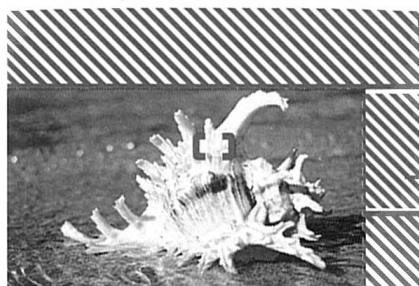


- 撮影前に赤目緩和（ランプが点灯）するため、約 1 秒間シャッターはきれません。フィルム巻き上げ音がするまでシャッターボタンを押しつづけてください。



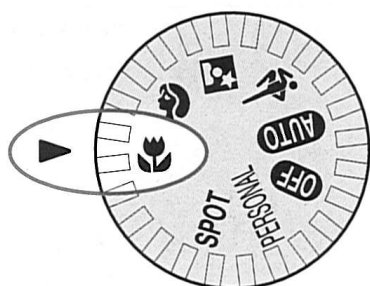
- 写したいものから 1 ~ 3m の範囲で自動的にズーミングします。また、自動的にズーミングした後、ズーム調整することができます。
- ポートレートモードでは、標準サイズ撮影を前提に撮影範囲を設定していますので、パノラマ撮影はおすすめできません。

近づいて大きく撮る



草花などを大きく撮るのに効果的で、はがき大の範囲を撮ることができます。

①



- 望遠側のほうが大きく撮影することができます。
- 近距離撮影マスク①が表示されたときは、近距離撮影について(→22)の説明にしたがって撮影します。

近づいて撮影できる距離 (ネガカラーフィルム使用時)

フィルム感度	広角 38mm	望遠 120mm
ISO100	0.45m	0.58m
ISO400	0.43m	0.55m



- 緑ランプが点滅したら点滅しない距離まで離れて撮影してください。(→23)
- リバーサルフィルムを使用して0.6m以内で撮影すると、適正露出となりません。ご注意ください。

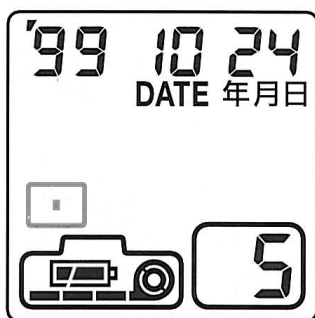
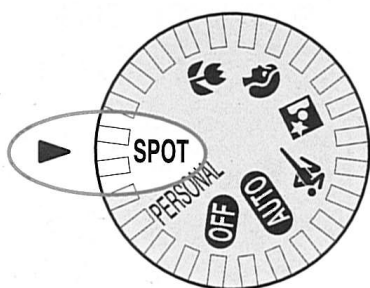


- 近づいて撮影できる距離から∞まで撮影できます。
- 常にストロボが発光します。

SPOT 極端に明るいもの、暗いものを撮る



ファインダーの中央部でピントと露出を合わせることができます。



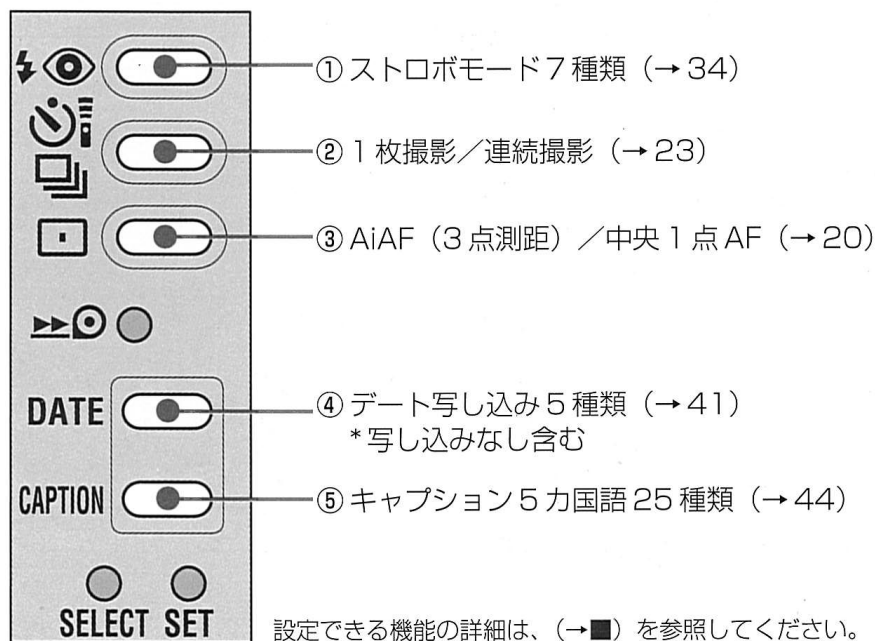
- 中央 AF フレームに写したいものを合わせて撮影してください。
- スポットライトに照らされた人物やスキー場の人物などコントラストの強いときに、写したいものだけをきれいに撮ることができます。



● 逆光時の自動発光と自動露出補正は行いません。

PERSONAL 自分で設定した機能で撮る

下図の①～⑤の機能を自由に組み合わせて、自分だけのベストショット機能を設定・記憶させることができます。



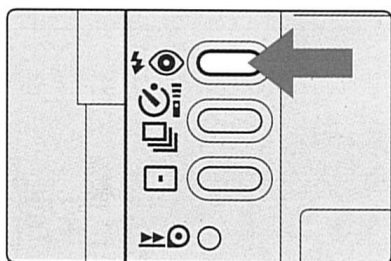
1. ダイアルを PERSONAL に合わせ、スイッチカバー内部の ボタンを押して設定します (例えば、ストロボ OFF、中央1点AF専用にしたときは、 ボタンで を ボタンで を表示パネルに出します)。
2. 設定した機能はダイアルを切り換えたときに記憶されます。以後、PERSONAL にしたときに、1. で設定した機能で撮影することができます。



- 電池交換すると、データは「-- -- --」点滅となります。そのほかの設定内容はそのまま記憶されます。
- キャプションは、言語と種類はそのまま記憶されますが、1枚撮影すると写し込み OFF となります。
- は設定できますが、記憶させることはできません。

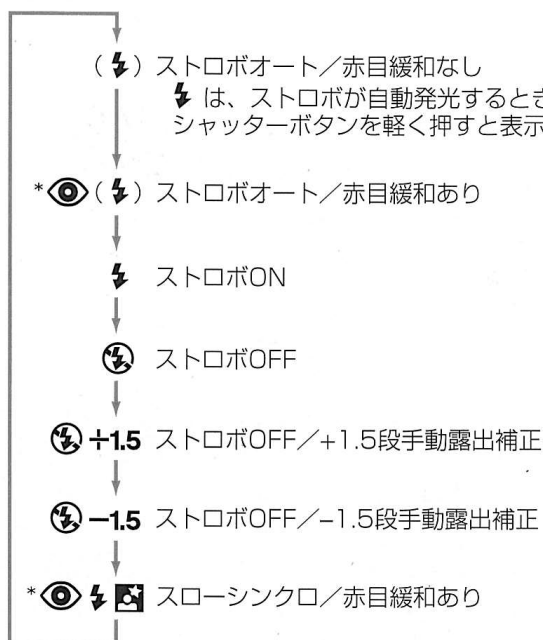
⚡👁️ ストロボモードを変える

写したいものや撮影場所にあわせて、ストロボを常に発光させたり、ストロボの発光を止めたりすることができます。



ストロボモードを選択する。

→ ⚡👁️ ボタンを押すたびにストロボモードが切り換わります。



* 📷 には 👁️ の設定はありません。



● ベストショットダイヤルを回すと、ベストショット機能で設定されているストロボモードにもどります。

(⚡) ストロボオート／赤目緩和なし

人物以外の撮影、または人物の撮影でも赤目緩和機能を使用せずにすぐに撮影したいときは、このモードにします。

逆光時や暗いところでは、ストロボが自動的に発光します。



(⚡) に設定する。

- ⚡👁️ ボタンを押して図の□の部分に何も表示されない状態がストロボオート／赤目緩和なしです。
- ➔ ストロボが自動発光するときは、シャッターボタンを軽く押しと⚡が表示されます。

ストロボの届く距離（ネガカラーフィルム使用時）

フィルム感度	広角	望遠
ISO100	0.6～4.1m	0.6～2.4m
ISO200	0.6～5.8m	0.6～3.4m
ISO400	0.6～8.2m	0.6～4.8m



- **AUTO**、**SPOT** では、電源を ON にしたときのストロボオートを「赤目緩和あり」にするか「赤目緩和なし」にするか選択することができます。希望するストロボオートを設定して電源を OFF にしてください。

👁️ (⚡) ストロボオート / 赤目緩和

暗い場所などでの撮影で人物の赤目を緩和したいときは、このモードにします。シャッターボタンを押すと赤目緩和ランプが点灯し、ストロボが発光します。



- ⚡👁️ ボタンを押して、表示パネルに 👁️ を表示します。

⚡ ストロボ ON

撮影場所の明るさに関係なくいつでもストロボが発光します。日中の逆光時や写したいものの影をやわらげるのに有効です。





- ⚡👁️ ボタンを押して、表示パネルに ⚡ を表示します。




ストロボ OFF

撮影場所が暗くても、ストロボが発光しません。
夜景の撮影、ストロボ使用が禁止されている場所での撮影、
室内照明を利用したの撮影をするときに有効です。



-  ボタンを押して、表示パネルに  を表示します。



- 暗い場所での  撮影は、シャッタースピードが遅く（最長約2秒）なるので手ブレに注意してください。
 +1.5、 -1.5 撮影も同様です。（→38）
- オレンジランプが点滅（手ブレ警告）したときは、しっかりした台の上に置か、三脚などを利用してください。

Ⓜ +1.5 Ⓜ -1.5 ストロボ OFF / 手動露出補正

このカメラには逆光時に自動的に露出補正する機能がありますが、任意に露出補正を行うこともできます。



- ⚡👁 ボタンを押して、+1.5 または-1.5 を表示します。
- ➔ Ⓜ も表示されます。

● Ⓜ +1.5 段露出補正

逆光時やスキー場など、写したいものの周辺が極端に明るい場合に、写したいものが暗く（露出アンダーに）なるのを防ぐことができます。また、写真全体を明るく仕上げたいときにも効果的です。

● Ⓜ -1.5 段露出補正

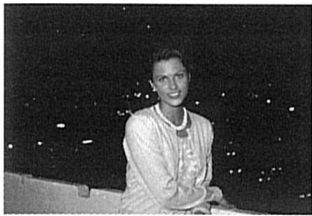
スポットライト照明のステージなど、写したいものの周辺が極端に暗い場合に、写したいものが明るく（露出オーバーに）なるのを防ぐことができます。また、写真全体を暗く仕上げたいときにも効果的です。



- Ⓜ +1.5、Ⓜ -1.5 では、自動露出補正は行いません。
- Ⓜ +1.5、Ⓜ -1.5 では、ストロボ発光しません。
- ネガカラーフィルムのプリントは露出補正の効果が出にくい場合があります。

👁️⚡📷 スローシンクロ／赤目緩和

スローシンクロは、夕暮れや夜景などを背景にして人物を撮影するときに効果的な機能です。シャッター速度を低速にすることでストロボの光が届かない遠くの背景まで写し込むことができます。



- ⚡👁️📷 ボタンを押して、👁️⚡📷 を表示します。



- 👁️⚡📷 では、シャッター速度が遅く（最長約2秒）なりますので、必ず三脚などを利用し、カメラを固定してください。また、ストロボが光った後も、写される人がすぐには動かないようにしてください。

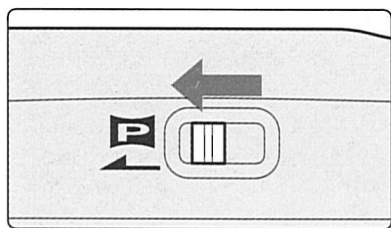


- 👁️⚡📷 のときには赤目緩和機能がはたらきます。
- 撮影条件によっては、ストロボオートで撮影したほうがきれいな写真が撮れる場合がありますので、👁️⚡📷 とストロボオートの両方で撮影しておくことをおすすめします。

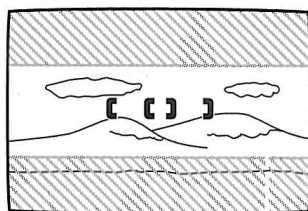
P パノラマ撮影

いつでも標準サイズの写真とパノラマサイズ（パノラマモード）の写真とを切り換えて撮影することができます。

- このカメラのパノラマ写真とは、フィルムの上下の部分に光が当たらないようにカバーして約 $13 \times 36\text{mm}$ （横長）の写真を取り、プリントするときにパノラマサイズ（ $89 \times 254\text{mm}$ ）に仕上げた写真のことです。



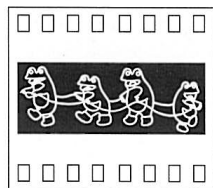
- 1 **パノラマ撮影にする。**
 - 切り換えレバーを **P** に合わせる。
 - ➔ ファインダー内にパノラママスクが出ます。



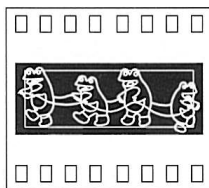
パノラママスク

- 2 **構図を決めて撮影する。**
 - ➔ 日付や時刻、メッセージが設定されていると、パノラマ写真に写し込まれます。

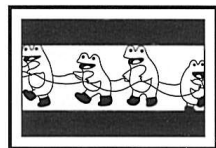
パノラマ撮影したフィルムとプリントについて



パノラマ撮影をするとフィルム上では、上下をカットした形で撮影されます。撮影枚数は変わりません。



パノラマプリントでは、フィルムに写っていてもプリントされない部分があります。



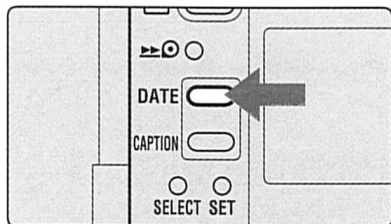
パノラマで撮影したフィルムを通常のプリントにすると画面の上下に黒い帯が写し込まれます。



- パノラマ撮影のときは、2m以上離れてください。
- パノラマ撮影したフィルムの現像・プリントは、通常処理と異なります。現像・プリント店に出す際には、必ず「パノラマ撮影したフィルム」であることをお伝えください。

日付／時刻を写し込む

撮影した日付や時刻を写真の右下に写し込むことができます。
パノラマ写真にも同様に写し込むことができます。



この位置に写し込まれます。

日付／時刻の組み合わせを選ぶ。

- DATE ボタンを押すたびに日付／時刻の組み合わせが変わります。
- 希望する日付／時刻の組み合わせを表示した状態で撮影します。



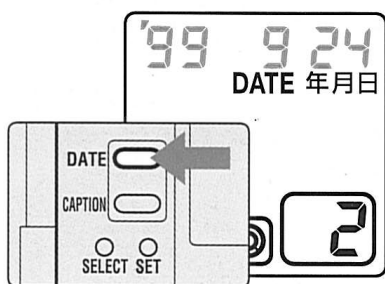
* <年月日>表示時は、漢字で99年12月24日と写し込まれます。

日付／時刻を設定する

電池を交換したときや海外旅行などで日付／時刻を設定・修正するときは次の手順で行います。

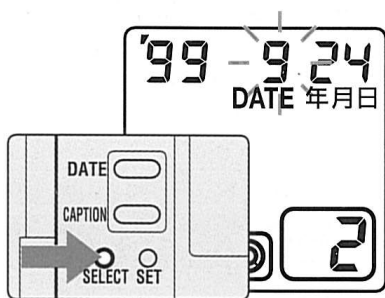
- **SELECT**、**SET** ボタンを押すときは、必ずストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。(→7)

日付の設定



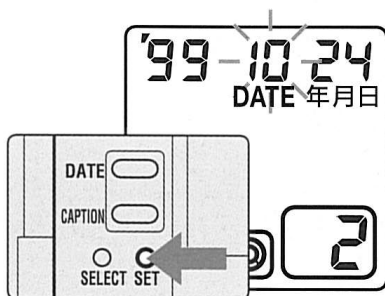
1 日付のみ表示にする。

- **DATE** ボタンを押して、日付のみ表示にします。
- 時刻の設定は次のページを参照してください。



2 設定する日付を選ぶ。

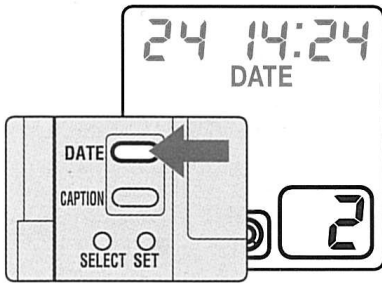
- **SELECT** ボタンを押して設定する位置を選びます。
→ 設定位置（数字の点滅）は、年月日の順に変わります。



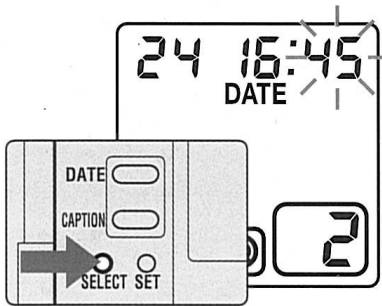
3 日付を設定する。

- **SET** ボタンを押して日付を設定します。
- 手順2と手順3を繰り返し、全ての日付を設定します。
- **SELECT** ボタンを押して点滅している日付がなくなれば日付設定は完了です。

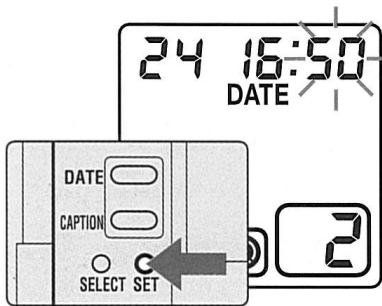
時刻の設定



- 4 日時分表示にする。**
- DATE ボタンを押して日時分表示にします。
 - 日時分表示では日付の設定はできません。



- 5 設定する時間を選ぶ。**
- SELECT ボタンを押して設定する位置を選びます。
 - ➔ 設定位置（点滅）は、時分：（秒）の順に変わります。

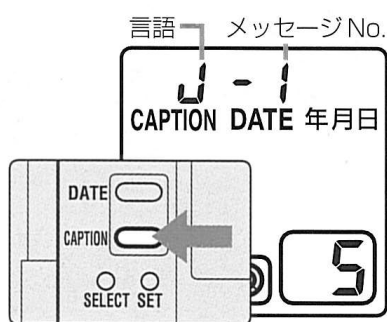


- 6 時間を設定する。**
- SET ボタンを押して時刻を設定します。
 - SELECT ボタンを押して「:」が点滅しなくなれば時刻設定は完了です。



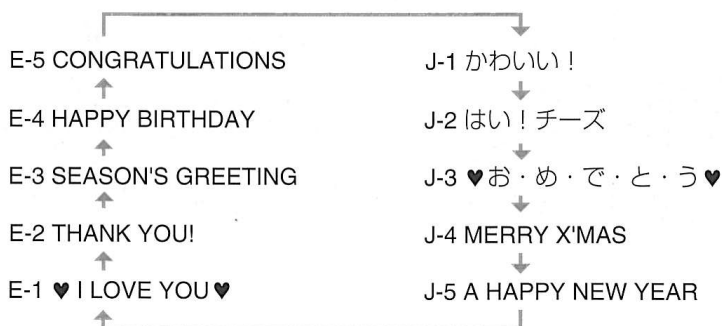
- 電池交換を行うと、表示パネルの日付表示が「-- -- --」点滅表示（日付／時刻の印字なし）になりますので、そのときの日付／時刻の設定は、手順2、3、5、6の順に行います。
- 2秒以上押し続けていると連続送りになります。
- 「:」点滅でSETボタンを押した時がゼロ秒となります。

メッセージを写し込む



CAPTION ボタンを押す。

- 押すたびにメッセージ No. が変わります。
- 希望するメッセージ No. を選んで撮影します。

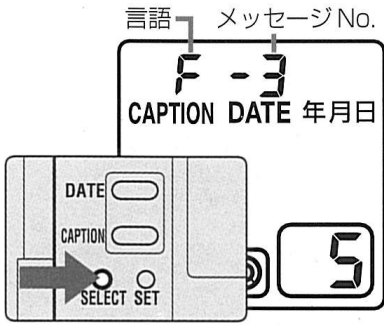


- DX マークのついた 12、24、36 枚撮りフィルムをお使いください。それ以外の撮影枚数では、最終コマのデート、メッセージの写し込みができない場合があります。



- メッセージだけ写し込みたいときは、**DATE** ボタンを押して日付表示を「-- -- --」にしてからメッセージを選んでください。
- パノラマ撮影でも写し込むことができます。
- 日本語のメッセージには、英語 (E-1 ~ E-5) のメッセージも含まれています。

各国語のメッセージを写し込む



SELECT ボタンを押す。

- 押すたびに言語が J (日本語)、E (英語)、F (フランス語)、D (ドイツ語)、ES (スペイン語) の順に変わります。
- SELECT ボタンを押すときは、必ずストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。(→7)

英語のメッセージ内容

- E-1 ♥I LOVE YOU♥
- E-2 THANK YOU!
- E-3 SEASON'S GREETING
- E-4 HAPPY BIRTHDAY
- E-5 CONGATULATIONS

フランス語のメッセージ内容

- F-1 ♥JE T'AIME♥
- F-2 MERCI!
- F-3 MEILLEURS VOEUX
- F-4 BON ANNIVERSAIRE
- F-5 BRAVO!

ドイツ語のメッセージ内容

- D-1 ICH LIEBE DICH♥
- D-2 DANKE SCHÖN!
- D-3 EIN FROHES FEST
- D-4 ALLES GUTE!
- D-5 VIELE GRÜBE

スペイン語のメッセージ内容

- ES-1 ♥TE♥AMO♥
- ES-2 MUCHAS GRACIAS!
- ES-3 FELIZ NAVIDAD
- ES-4 FELIZ CUMPLEAÑOS
- ES-5 FELICIDADES

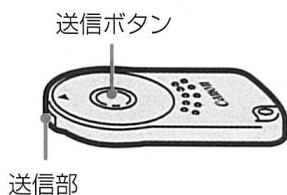
メッセージの写し込みを中止するには

- DATE ボタンを押します。CAPTION 表示が消えます。

リモコン撮影

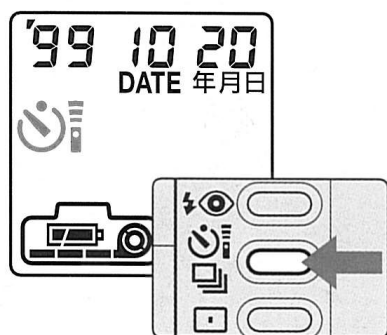
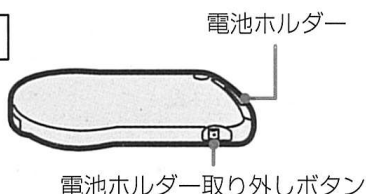
リモートコントローラー（リモコン）を使用するとカメラの正面から約5m離れて撮影できます。

リモコン (RC-5) の各部名称



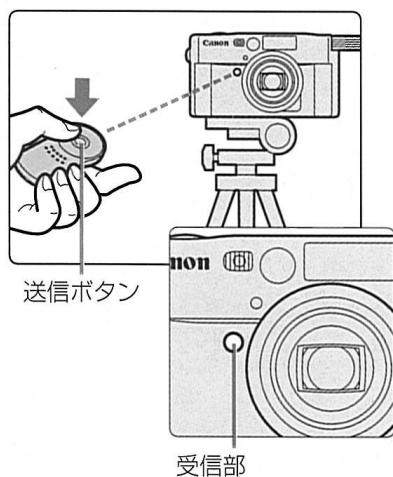
表

裏



1 リモコン撮影に設定する。

- ボタンを押します。
→ 表示パネルに がでます。
- 再度 ボタンを2回押すと 表示が消えてリモコン撮影が解除されます。



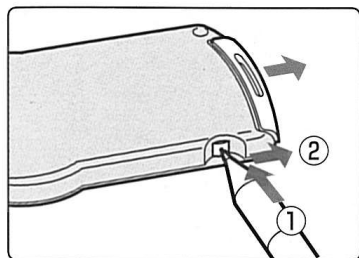
2 撮影する。

- フォーカスロック（→21）してから構図を決め、送信部をリモコン受信部に向けて送信ボタンを押します。
→ リモコンの受信は赤目緩和ランプの点滅（1回/秒、赤目緩和のときは点灯）と表示パネル上のカウントダウンでお知らせします。
- 約2秒後に撮影されます。

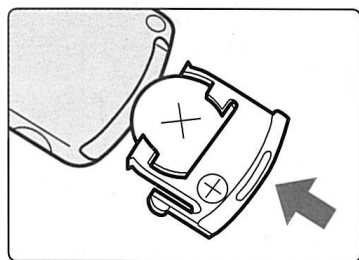
リモコンの電池交換

送信ボタンを押しても撮影されなくなったら、新しい電池と交換してください。

使用電池：リチウム電池 CR2032 3V、1 個を使用します。



- 1 電池ホルダーを外す。**
- ボールペンなどの先端で取り外しボタンを押しながらスライドさせます。




- 2 電池を入れ換えてホルダーを入れる。**
- +-を正しく合わせて入れます。



- リモコン受信部に太陽や蛍光灯の光が強くとあっていると、リモコン撮影できないことがあります。このようなときはセルフタイマーで撮影するか、カメラを移動してください。
- リモコン受信状態時に蛍光灯が近くにあると、蛍光灯の影響でカメラのリモコン機能が誤作動することがあります。この場合はカメラを蛍光灯から遠ざけて使用してください。



- リモコン撮影は  が表示されている約 4 分間有効で、続けて撮影することができます。
- カメラをしっかりとした台の上におくか、三脚などをご利用ください。
- フォーカスロック撮影は、通常撮影と同様に行うことができます。(→ 21)

こんなときは

「故障かな?」と思っても、修理に出す前にもう一度次の表を参考にして確認してください。

症状	原因	解決方法	ページ
電池チェックマーク 🔋が点滅する	● 電池が消耗している	● 電池を交換する	26
電池チェックマーク 🔋が表示されていない	● 電池が入っていない ● 電池が逆向きに入っている ● 電池が完全に消耗している	● 電池を入れる ● 電池を正しく入れ直す ● 新しい電池と交換する	26 26 26
シャッターがきれない	● ダイアルが[OFF]になっている ● 電池が消耗している ● フィルムが正しくセットされていない ● 巻き戻されたフィルムがカメラに入っている ● 赤目緩和ランプが点灯してから約1秒間はシャッターがきれない	● 撮影条件に合わせてダイアルを合わせる ● 新しい電池と交換する ● フィルムを正しく入れ直す ● フィルムを取り出して新しいフィルムをセットする ● シャッターがきれるまで押し続ける ● ストロボモードを切り換える	18 26 14 25 29 34
写真がボケて写っている	● シャッターをきくときに、AF投・受光部をおおっていた ● セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した ● シャッターボタンを押すときにカメラが動いた(手ブレ)	● 髪や指などでAF投・受光部をおおわないように気を付ける ● カメラの直前に立たないように気をつける ● シャッターボタンを静かに押す	9 24 9
表示パネルに「H」が表示される	● 自己診断機能で異常を検出した	● 電池を一度取り出し、「H」表示が消えてから、入れ直す	26
ストロボが光らない	● ストロボ発光部を押し込んでいた	● ストロボ発光部を押さえないようにする	9

Q&A

Q1 リバーサルフィルムは使えますか？

A1 ☼ の0.6m以内での撮影を除いて(→31)、使うことができます。ただし、DXマーク付きの35mmフィルムISO25、50、100、200、400、800、1600のものを使用してください。

Q2 フィルム感度 (ISO) とは何ですか？

A2 フィルムが光を感じる度合を数字で表したもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。通常の撮影ではISO400のフィルムをおすすめします。

Q3 DX マークのない35mmフィルムは使えますか？

A3 はい、使うことができます。ただし、DXコードのついていないフィルムを入れた場合はISO 25にセットされます。フィルム感度ISO25またはDXマークのついていないフィルムは、フィルム室に入れ背ぶたを閉じ1～2回シャッターボタンを押してください。

Q4 写真に写し込まれた日付が読みにくいのですが？

A4 写し込み位置の背景が明るくありませんか？暗いものがかかるようにしてください。また、黄色系のものや白いものが写し込み位置にこないようにしてください。

主な仕様

形式	ズームレンズ内蔵、35mm レンズシャッター式 AF 全自動カメラ
画面サイズ	24 × 36mm (標準サイズ)、13 × 36mm (パノラマサイズ)
レンズ	キヤノンレンズ 38-120mm F4.5-10.9
焦点調節	アクティブ/パッシブ・ハイブリッド・デュアル AiAF
撮影距離	通常：0.6m～∞、クローズアップ 0.43m～∞ (ISO 400)
シャッター形式	絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
ファインダー	実像式ズームファインダー
視度調節	-3 ～ 0pdt
ファインダー内情報	撮影範囲枠、近距離撮影マスク、パノラママスク、ワイド AF フレーム、中央 1 点 AF フレーム、ピント表示、赤目緩和
ファインダー接眼部	緑ランプ：撮影準備完了兼近距離警告 オレンジランプ：ストロボ充電完了兼手ブレ警告
フィルム装填	自動
フィルム給送	全自動、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター	順算式、フィルムの移動に連動
セルフタイマー	約 10 秒後リリース、作動表示あり
リモートコントロール	リモコン送信機 RC-5 使用で、約 5m 以内のリモコン撮影が可能、2 秒後リリース。RC-5 送信可能回数約 6000 回
露出制御範囲	ストロボオート/ストロボ ON モード 広角：1/770 秒 F15.5 ～ 1/38 秒 F4.5 望遠：1/420 秒 F21 ～ 1/120 秒 F10.9 ストロボ OFF / スローシンクロ (夜景は 4 秒まで制御) 広角：1/770 秒 F15.5 ～ 2 秒 F4.5 望遠：1/420 秒 F21 ～ 2 秒 F10.9
露出補正	自動露出補正と ± 1.5 段の手動露出補正

ベストショットダイアルの機能組み合わせ内容

マーク	AF				測光方式		逆光検知
	AiAF	1 点 AF	ワンショット	サーボ	3 分割	スポット	
AUTO	●	○	●		●		●
		●		●	●		●
	●	○	●		●		●
		●	●		●		●
		●	●		●		●
SPOT		●	●			●	
PERSONAL	●	○	●		●		●

- フィルム感度ISO 25～3200、DXコードにより1段毎に自動セット
- 内蔵ストロボ低輝度、逆光時自動発光式内蔵型ズームストロボ
- ストロボ連動範囲[ISO 100] 広角：0.6～4.1m、望遠：0.6～2.4m
(通常) [ISO 400] 広角：0.6～8.2m、望遠：0.6～4.8m
(ネガカラーフィルム使用時)
- ストロボ充電時間約3秒(新品電池使用時)
- ストロボ切り換えストロボモードボタンによる(→34)
- オートデート西暦2029年までのオートカレンダー内蔵
(閏年自動修正)
- 写し込みデータデート5通り(写し込みなし含む)、メッセージ25通り
- 文字形式6×7のドットマトリックスによる
- 写し込みの色オレンジ色
- パノラマ撮影パノラマ/標準切り換えレバーにより随時可能
- 電源リチウム電池 CR2タイプ2本
- 撮影可能本数24枚撮りフィルム 約24本(常温・ストロボ50%使用時)
- 大きさ115(幅)×63(高さ)×45(奥行き)mm
- 質量255g(カメラ用電池別)

- ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。
- 都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

○は変更することができる機能です。PERSONALは工場出荷時の初期設定です。

自動 露出補正	倍率一定	至近距離 (m)	給送モード		ストロボ初期設定	
			1枚	連続	ストロボ	赤目緩和
●		0.6	●	○	AUTO	
●		0.6	○	●	AUTO	
●		0.6	●	○	スローシンクロ	●
●	●	0.6	●	○	ON	●
●		0.43-0.58	●	○	ON	
		0.6	●	○	AUTO	
●		0.6	●	○	AUTO	

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

カメラ相談センター（製品取り扱い方法ご相談窓口）

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

☎(03) 3455-9353

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）

〒060-8522 札幌市北区北七条西1-1-2（SE山京ビル1F）

☎(011) 728-0665

〒980-8560 仙台市青葉区国分町3-6-1（仙台パークビル1F）

☎(022) 217-3210

〒950-0914 新潟市紫竹山1-10-26

☎(025) 246-8765

〒331-0852 大宮市桜木町4-247（OSビル1F）

☎(048) 649-1450

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1（朝日生命千葉登戸ビル1F）

☎(043) 248-6108

〒104-0061 東京都中央区銀座5-9-9

☎(03) 3573-7834

〒163-0290 東京都新宿区西新宿2-6-1（住友三角ビル地下1F）

☎(03) 3348-4725

〒220-0004 横浜市西区北幸2-6-26（HI横浜ビル2F）

☎(045) 312-0211

〒420-0034 静岡市常盤町2-6-8（トーカイビル3F）

☎(054) 253-9010

〒461-8511 名古屋市中区東桜2-2-1（高岳パークビル1F）

☎(052) 939-1830

〒920-0853 金沢市本町1-5-2（リファール1F）

☎(076) 233-6608

〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町513（京都第一生命泉屋ビル2F）

☎(075) 255-5953

〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12（梅田センタービル別館1F）

☎(06) 6373-8181

〒700-0907 岡山市下石井2-2-5（ニッセイ岡山スクエア13F）

☎(086) 221-8678

〒730-0051 広島市中区大手町3-7-5（広島パークビル1F）

☎(082) 240-6712

〒760-0027 高松市紺屋町4-10（鹿島紺屋町ビル1F）

☎(087) 823-4681

〒812-0017 福岡市博多区美野島1-2-1（キヤノン販売福岡ビル1F）

☎(092) 411-4173

〒900-0032 那覇市松山1-1-19（安田生命那覇ビル8F）

☎(098) 866-7933

カメラ技術センター（修理サービスご相談窓口）

〒213-0032 川崎市高津区久地487-1

☎(044) 811-1670

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3

☎(06) 6941-1076

営業所

〒870-0045 大分市城崎町1-3-31（富士火災大分ビル）

☎(097) 537-4117

休業のご案内

新宿（日曜日、祝日、第3木曜日） その他（土・日曜日、祝日）

営業時間のご案内

新宿：10：00～18：00 梅田：9：30～18：00 その他：9：00～17：30